

30年9月 NMC月例会報告



講師：秋山弘子先生

1. 開催日：平成30年9月21日(金)18:30～20:25

(質疑応答 25分を含む)

2. 開催場所：高円寺北区民集会所（第4と5会議室）

(20:35～22:10 有志の懇親会は中華料理店「成都」<参加費：2,500円>)

3. 演題：「長寿社会の課題と将来性」

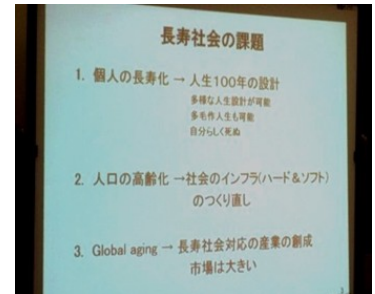
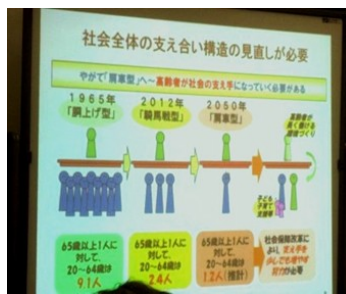
4. 講師：秋山弘子・東大高齢社会研究機構特任教授。

略歴：昭和37年岡山朝日高校卒、東大教育学部卒後に米国の国立老人研究所フェロー、ミシガン大学教授、東大教授、日本学術会議副議長等を経て、2009年より現職。

5. 参加者：33名(講師、会員23名<参加費：無料>、非会員9名<参加費：500円>)

6. 内容：小川理事長の挨拶後、石村理事が講師略歴を紹介。小川理事長が持参したパソコンとプロジェクターを使い、USBで持参した資料を白板に投影し、秋山教授はマイクを使わずに75歳とは思えぬくらい良く通る声で講演をされた。100歳時代を迎えた現在は、一律の定年制をやめて、元気で働く意欲のある人はフルタイムでなく、75歳～80歳くらいまで、年金の受け取りを先延ばしし、休み休みしながら働き、ボランティアや学ぶことが元気の秘訣だと話された。秋山教授は柏市と鎌倉市で多くの高齢者を追跡調査しながら研究を続けられ自ら実践されており、研究成果を国や東京都などに提言されている。高齢化先進国の日本にはノウハウが蓄積されつつあり、これは世界中で役立つので、商機があるという。講演終了後、立川理事の司会で質疑応答(25分)があり7人の方が質問された。有志の懇談会は中華料理店「成都」で19人の参加を得て開催され、飲み放題方式で三々五々解散方式としたが、講師も当初予定の30分を上回る1時間半もいて下さったので夜遅くまで懇談が続いた。(写真:宮崎 文責:石村)

プレゼンテーション資料(一部抜粋)



浅川、立川、福島、G、柚木、小高、内田、小池、堀越、正野、G、小川(俊)、高田、江尻 (敬称略)
 秋山先生、篠田、森 ゲスト(G): 稲葉、岡本、国近、
 G、G、G、鶴見、恩田、柿澤、G、杉崎、G の方 佐野、高津、田中、
 石村(文責)、小川(啓)、細越、G、G、宮崎(写真撮影)、高橋(会計) 信江、藤林、横田